

事業所評価の集計結果（公表）

公表： 令和5年 3月 30日

事業所名 わくわくスクール三芳校

職員数 11 回収数 11 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	事業所としての改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			おもちゃを整理するなどして、教室内を広く使えるようにするよう心掛ける
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		バリアフリーの配慮が必要な利用者を精査して、適切な療育環境が整っているか精査する必
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートをもとに、定例会議を通じて保護者の意向を把握し、業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公表している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	行えていないのが現状で、今後必要であるという認識である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			虐待防止、避難訓練、感染症に関する研修を年間二回ほど行っている。また、発達に関する研修は埼玉県の実施する基礎研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		自社で作成したアセスメントシートを使用しているが、改定の必要があると考えている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		曜日によって担当が割り振られており、立案については個人の裁量に委ねているが、アドバイ
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		基本的には毎回違うプログラムを組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は学習と集団療育を組み合わせたサービスを行っている。休日は、集団療育に特化した療育を実施している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日必ず行うようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		翌日のミーティングで行うようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者の面談を通じてお子様の利用状況を共有している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理者が担当している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			適切な情報共有をすることを目的に、昨年からのLINEでの連絡調整が出来るように体制を整備した
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケア児の受け入れはない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者を通じて行っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	していないのが現状で、積極的に参加することは重要であるという認識はある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングは行っていないが、適宜相談支援やアドバイスや書籍等の情報の提供を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談支援やアドバイスや書籍等の情報の提供を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	茶話会などの保護者の情報交換する機会の作ることを検討している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月わくわく通信というお便りを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きのロッカーに個人情報は保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		策定はしているが、保護者への周知が出来ていないのが現状である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年度内に二回実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年度内に二回実施している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		定期的に委員会を実施している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医師の指示書の提出は求めているが、アセスメントの時点で必ずアレルギーの有無を確認し
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
合計数			28	10	5	